

ため池ハザードマップの活用方法(急な事態へ備えましょう)

1. 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。
 - 自宅などの場所を確認し、周辺の浸水の深さや氾濫水の到達時間を確かめましょう。
2. 避難場所や避難経路を考えましょう。
 - 浸水の深さや氾濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
 - 避難場所まで安全に避難できる経路を考え、実際に歩いて移動時間を確認しておきましょう。
3. 日頃から家族や地域で話し合しましょう。
 - 災害時に互いが協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合しましょう。
 - 避難する時、配慮が必要な人への情報伝達方法などを決めて、確認しておきましょう。
4. 防災情報の入手方法を確認しましょう。
 - ため池決壊の要因となる大雨や地震の情報や避難情報を素早く入手できるように、入手方法を確認しておきましょう。
 - 自動的に防災情報が配信されるサービスもありますので活用しましょう。(防災情報メール、防災アプリなど)

防災情報

インターネット	大阪管区気象台	気象情報や警報・注意情報情報など http://www.jma-net.go.jp/osaka/index.html	メール・アプリ	防災情報メール	touroku@osaka-bousai.net に空メールを送り登録すると、防災情報が自動的に配信されます。
	国土交通省	川の防災情報 http://www.river.go.jp/		携帯電話事業者	緊急速報メール(登録不要) エリアメール
	大阪府	おおさか防災ネット http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html 河川防災情報 府内各地の雨量、河川水位、安威川の洪水予報など http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html 土砂災害の防災情報 府内の土砂災害危険度判定状況や土砂災害警戒情報など http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html		各社	防災アプリ*
	茨木市	茨木市ホームページ 避難勧告などの情報や各種災害情報 http://www.city.ibaraki.osaka.jp/ 茨木市防災気象情報 https://ibaraki-city.mec-bousai.info/ 茨木市 Facebook ページ https://www.facebook.com/city.ibaraki 茨木市公式 Twitter https://twitter.com/ibaraki_city			

※防災アプリとは：防災アプリケーション
スマートフォンにインストールすると、緊急地震速報や豪雨予報、避難情報などをいち早く知ることができます。(各社防災アプリのサイトより、ダウンロードしてください) 平成30年3月現在

我が家の防災メモ

我が家の避難場所		家族の集合場所
家族の名前	緊急連絡先(携帯電話、勤務先、学校)	備考(災害時の役割)
メモ		

非常時持出品(準備ができれば□にチェック☑を入れましょう)

避難時に持ち出す必要最低限のものをまとめ、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

- ※重さは成人男子で15kg、女子で10kg程度までを目安とし、避難時に両手が使えるようリュックサックタイプのものを使用しましょう。
- 貴重品
 - 懐中電灯
 - 携帯ラジオ
 - 応急医薬品
 - ハザードマップ
 - 非常用食品・飲料水
 - 火を通さずに食べられるもの(カンパンや缶詰など)
 - レトルトのおかず
 - 離乳食・粉ミルクなど
 - 生活用品
 - 衣類、タオル、マスク
 - おむつなどの衛生用品(ウェットティッシュ・洗面用具・生理用品など)
 - その他(軍手・ゴミ袋・携帯電話の充電器など)

茨木市 ため池ハザードマップ

堤 長：95m
堤 高：4.5m
貯水量：24,600m³
[25m プール約 49 杯分]
※プールは 500 m² で換算

ため池は、農業用水として活用されるほか、大雨時に一時的に水を貯める機能や、生物の生息・生育の場、住民の憩いの場など多面的な役割を担っています。

この「ため池ハザードマップ」は、ため池が万が一決壊した場合に想定される浸水区域や避難に役立つ情報をまとめたものです。迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

ため池の決壊メカニズム

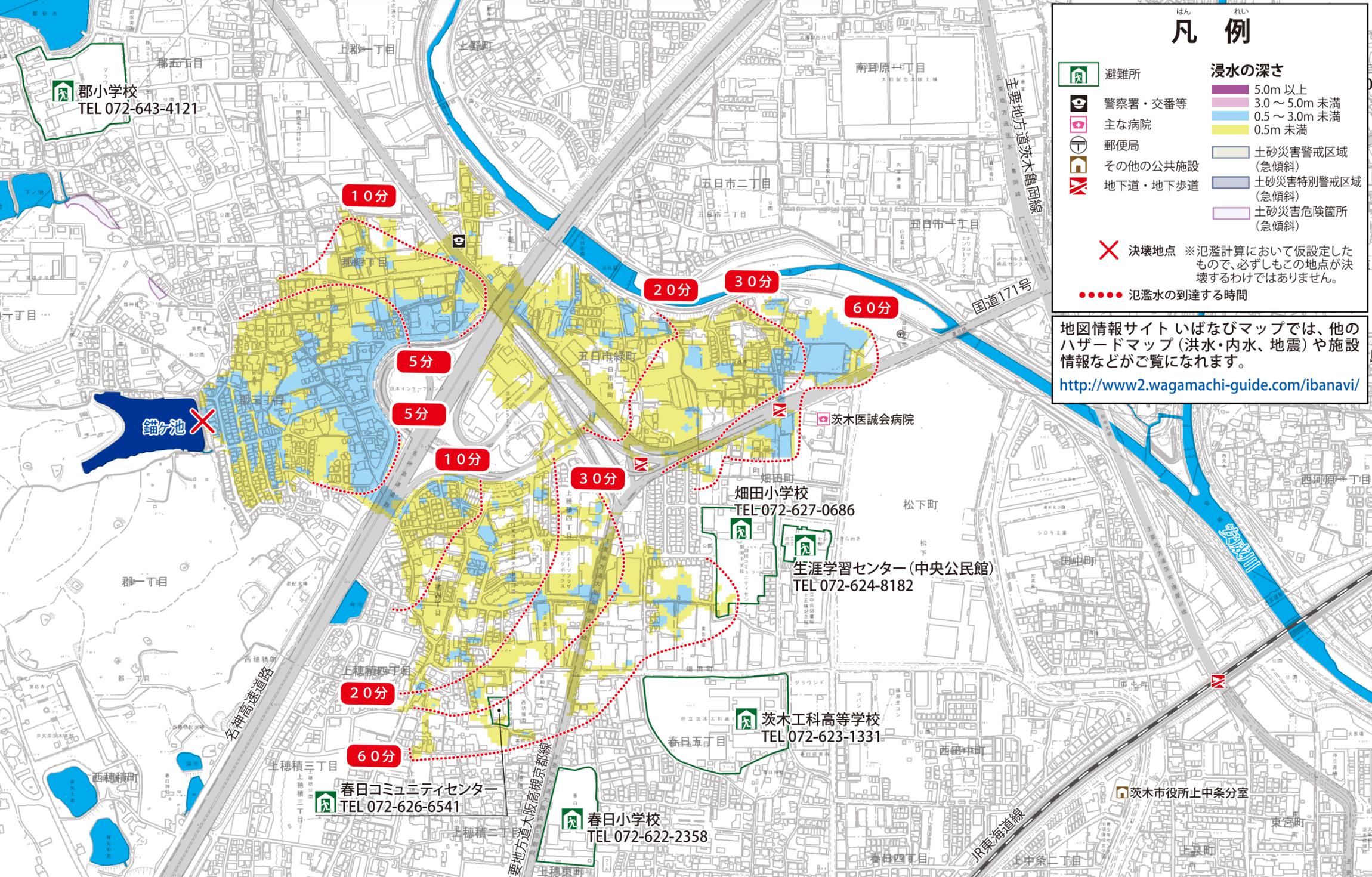


- 大雨のとき** 集中豪雨や長雨により、ため池の水位が上昇し、堤に浸透する水の量が増え、ため池決壊の危険性が高まります。また、流木などにより、ため池の余水吐がふさがれると、ため池が満水となり、水が堤からあふれ出し、堤が浸食され、決壊に至るおそれが高まります。
- 大地震のとき** 大地震では堤に亀裂や漏水、沈下が生じる可能性があり、強度低下により、水圧に耐えきれず決壊することがあります。また、その後の余震で決壊することがあるため注意が必要です。

ため池決壊以外の災害にも注意しましょう

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。注意をして避難しましょう。

茨木市 錨ヶ池 ハザードマップ



凡例

	避難所		浸水の深さ 5.0m 以上
	警察署・交番等		3.0 ~ 5.0m 未満
	主な病院		0.5 ~ 3.0m 未満
	郵便局		0.5m 未満
	その他の公共施設		土砂災害警戒区域 (急傾斜)
	地下道・地下歩道		土砂災害特別警戒区域 (急傾斜)
	決壊地点		土砂災害危険箇所 (急傾斜)

※ 決壊地点 ※ 汎濫計算において仮定したもので、必ずしもこの地点が決壊するわけではありません。

..... 汎濫水の到達する時間

地図情報サイトいばなびマップでは、他のハザードマップ(洪水・内水、地震)や施設情報などがご覧になれます。
<http://www2.wagamachi-guide.com/ibanavi/>

汎濫シミュレーションの条件

- ① 想定される最大規模の汎濫を想定し、決壊時のため池の貯水量は堤頂までとする。
- ② 地震または大雨により堤が決壊し、瞬時に決壊部の堤がなくなり、全貯水量が流れ出すと仮定する。
- ③ シミュレーションは、地形を5mのメッシュで表したモデルを用いて汎濫流の動きを決壊から最大60分後まで計算する。

ハザードマップ活用の留意点

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。浸水想定結果は、あるひとつの仮定条件に基づく結果です。また詳細な地形や水路などを反映できていない場合もあり、想定区域外での浸水や想定結果以上の浸水の深さになる可能性もあります。

このため、ハザードマップに示された浸水範囲や浸水の深さ、到達時間などはあくまでも目安であり、災害時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

マップで自宅などの浸水の深さを確認しましょう

※2階建て戸建住宅の場合

	5.0m 以上 (3階部分まで水没するおそれ)
	3.0 ~ 5.0m 未満 (2階部分まで水没するおそれ)
	0.5 ~ 3.0m 未満 (1階部分まで水没するおそれ)
	0.5m 未満 (床下浸水程度)

どこへ

- 浸水しない場所**：安全な場所へ避難
・立退き避難
- 自宅の2階や近くの高い建物**：自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
・垂直避難
- 自宅にとどまる**：むやみな移動はかえって危険
・屋内退避

どのように

- ・歩きやすい服装で
- ・隣近所に声をかけて
- ・配慮が必要な人などの避難に協力を
- ・水、食料、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを上へ
- ・近所の配慮が必要な人などにも声をかけて